

正しいマスクの着用方法について

○ マスクは**すき間が出来ないように顔にフィット**させる

○ マスクを着用していても、**会話は短時間で、大声は避ける**



○ 感染リスクの比較的高い場面では、できればフィルター性能の高い**不織布マスクの利用**を

※布やウレタン素材よりも不織布の方が効果が高いことが示されています。

【市販マスクの性能(実測値)】※坪倉誠教授(理化学研究所/神戸大学作成資料を基に鳥取県作成

	なし	ウレタン	布マスク (フィルター無)	不織布マスク	
				ルーズ	フィット
吐き出し時	100%	48%	28%	24%	18%
吸い込み時	100%	82%	70%	45%	25%

※マスク無しを100%とした時、飛沫が漏れる割合を表したものの、割合が低い方が飛沫の捕集率が高く、効果が高い。

